

[第 171 回藤樹人間学塾のご案内]

皆さま

2026 年 2 月



主 催 NPO法人高島藤樹会

- 日 時 2026 年 3 月 14 日 (土) 15時～17 時 (今回は第 2 土曜日)
- 場 所 高島市安曇川公民館(高島市安曇川町田中89) ☎0740-32-0003
- テーマ 「藤樹先生に学ぶ人間学」
テキスト 熊沢蕃山著・伊東多三郎現代文訳『集義和書』(中央公論社)p.256～
- 塾 長 田中 清行 (090-1026-7882)

2026 年 2 月 7 日(土)、安曇川公民館で第 170 回藤樹人間学塾を開きました。今回は京都から 1 名、大津から 3 名を入れて 7 名の参加でした。

■ テキスト

『中江藤樹・熊澤蕃山』(中公バックス日本の名著 11)

■ テキストの見出し

「集義和書」巻九 義論の二 人に学ぶ、正心と誠意、致知と格物を輪読し、配布資料も説明。

■ 今日のポイント

- ・ 人に学ぶ…人の師として教えるには聖人の心でいることが難しい。弟子であればは温和恭順で自我にとらわれぬ真実な心でいられる。人間として大本を知って迷わないだけ。天下には自分と違う者がある道理を知ってよく賢才を登用して治国平天下をなすのは名君である。
- ・ 正心と誠意…『大学』の八条目(格物、致知、誠意、正心、修身、齊家、治国、平天下)は、工夫(手段→目的)で考える。
- ・ 致知と格物…慎独のための手段は誠意である。致知のための手段は格物である。道の大意を知ると天下にまだ知らぬことに会っても心が惑うことはない。大意を知ったのちそこに停止してはいけない。→釈尊は悟りを開いたのち説法の旅を続けた。

(配布資料について)

- ・ 横田南嶺師が強い影響を受けた人は2人。…①山本玄峰老師は『無門関提唱』で「磨いたら、磨いただけは光あり、性根玉でも何の玉でも」→これは陽明学の「致良知」の教えと共通している。②釈宗演老師は百年以上も前に、アメリカから自分第一という個人主義が輸入されてこれが高じてくると危険思想にもなる、と言っており、今の世相をぴったり言い当てている。
- ・ 境野勝悟師は無用の用(老荘思想)を説く…何もない無から用(働き)が生まれる。一見役に立たなそうなものが重要な役割を担っている。
- ・ 北康利著『二宮尊徳 世界に誇るべき偉人の生涯』(致知出版社)を読んで…尊徳が開発した「報徳仕法」は現代にも通じる投資システム。尊徳はこれを心田を耕す「徳の循環」と呼んだ。

■ フリートークング

- ・ 「今日の学び。誠意で心を正し、身を修めて家を斉える。悟ったことを止まっていなくて他へ伝えていく。先日学んだオセロの話を実践して幸せな毎日。それを皆に伝えたら喜ばれた」
- ・ 「二宮尊徳は凄い実践の人。現代にも投資システムは通じる。もっと日本中が尊徳のことを知る必要がある」

などの意見をいただきました。ありがとうございます。

皆で学ぶと議論が深まります。学ぶは愉し！難しいところも資料を用意して分かりやすく解説します。参加費無料です！人間学に関心のある方はどうぞご参加ください。

